

科目	地域・在宅看護論 概論	時期	1 年次後期	単位数	1 単位	実務経験
		担当教員	山本 友里恵	時間数	15 時間	○（専任教員）
目的	あらゆる年代の疾病や健康障害のある人々やそのリスクの高い人々とそれを取り巻く家族、地域・コミュニティの人々に対して、地域における様々な場において、地域での健康と生活（暮らし）を支えるための看護を学ぶ。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で暮らす人々の生活と多様性を理解し、地域の環境が人々の生活に及ぼす影響を説明できる。 2. 生活と健康をめぐる社会の動向をとらえ、地域におけるケアの必要性について説明できる。 3. 地域における生活と健康を支えるケアの内容について、説明できる。 4. 地域・在宅看護の目的、機能ならびに対象について、説明できる。 5. 地域・在宅看護の理念の基本事項を理解した上で、看護実践との関連について説明できる。 6. 地域における看護実践の変遷について、説明できる。 7. 地域・在宅看護の基本となる倫理について、説明できる。 					
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域と生活 2. 地域・在宅看護の背景 3. 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護の理念 <ul style="list-style-type: none"> ・セルフケア理論、保健行動理論、地域共生社会 ・アドボカシー、社会保障・社会福祉、ノーマライゼーション ・プライマリーヘルスケア、ヘルスポロモーション、エンパワーメントの基本事項と看護実践との関連について 4. 地域・在宅看護における倫理 5. 在宅療養者と家族の支援 6. 在宅看護における危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における安全管理 ・災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理 7. 地域・在宅看護の動向と今後の発展 					
授業形態	講義					
教材	ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア 地域・在宅看護論(1) メディカ出版					
評価	終講試験 60 点 演習・レポート 40 点					